

(2020年4月)

ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

<要点>

【政治】

- 内政：コロナウィルス関連の非常事態宣言の1ヶ月延長（19日）

【経済】

- IMF及び米国による支援表明（17日，23日）
- コメの輸入依存体質の継続（23日報道）
- 2020年の経済成長率はマイナス0.4%の見通し（28日）

【社会】

- 文化：世界遺産の一部が火事で消失（12日）
- 米国からの強制送還者の中にコロナウィルス患者（20日）
- ゴナイブ市の病院で医療関係者が医療機材を破壊（28日）

1 政治

(1) 内政：コロナウィルス関連の非常事態宣言の1ヶ月延長

- 19日 ジュトゥ首相が非常事態宣言を1ヶ月延長する旨を発表した。
- 20日 政府は、国の予算18百万ドルを使って、コロナウィルス対応の医療品を購入することを決めた。

2 経済

(1) IMF及び米国による支援表明

- 17日 IMFは、ハイチの国際収支のバランスのために111.6百万ドルの拠出を行う理事会の承認が得られたことを表明した。
- 17日 米USAIDは、ハイチにおけるコロナウィルス対策のために既に拠出を表明した2百万ドルに加えて11百万ドルの拠出を決定し、合計13.2百万ドルの拠出を行うこと、さらに、米国疾病予防センター（CDC）から2.9百万ドルが拠出されることが発表された。
- 23日 米USAIDは、ハイチの経済的安定のために、75百万ドルを拠出する旨計画対外関係大臣と署名を行った。

(2) コメの輸入依存体質の継続

- 23日 当地紙によると、2020年7月から21年6月までのコメの国内生産量は、7.5万トンとなる見込み。国内消費量は、2019年から20年の57万トンから翌年は58万トンとコメに対する需要は増加傾向にあり、それを輸入に頼っている構造である（USDAの統計によると、輸入量は49.5万トンで、消費の9割弱を輸入に依存している。）。

(3) 今年の経済成長率はマイナス0.4%の見通し

- 28日 ジュトゥ首相は、昨年の政治と社会の不安定とコロナウィルスの影響で、今年の経済成長率がマイナス0.4%となる見通しを表明した。非常事態宣言による工場閉鎖で購買力の低下した家計の影響を受けて農産品への需要が低くなっていること、ホテル・レストランの閉鎖によるサービス部門の収益減、直近5ヶ月の輸入43%減と輸出10%減に伴う関税収入の減少、これにより、年末には国内総生産の6.4%に相当する財政赤字が見込まれる。

3 社会

(1) 文化：世界遺産の一部が火事で消失

- 12日未明 アンリ・クリストフ国王が建造した世界遺産のサン・スーシ宮殿にあるミロ(Milot)のカトリック礼拝堂が火事で焼失した。

(2) 米国からの強制送還者の中にコロナウィルス患者

- 20日 ジュトゥ首相は、米国から4月7日にハイチに強制送還された68名の不法移民の中に3名コロナウィルスの陽性反応が出た者がいたことを発表した。

(3) ゴナイブ市の病院で医療関係者が医療機材を破壊

- 28日 アルチボニット県のゴナイブ地方病院で、救急隊が40ヶ月の給料未払いに抗議して、テントや医療ベッド等の医療機材を破壊する事件が発生した。